

ヴァーチャル？／リアル？

「あれかこれか」ではなく

物理的に会うこと＋心で会うこと

「あれもこれも」見すえて

喪の作業 サイコセラピーのリズム 中
半端さ 抱える環境 劇化 人生物語を紡
直す 二重性 どさくさに紛れて「あい」
形象化 評価の分かれるところに立つ 不
かさ 見て見ぬふり 宙に浮いたような感
身体間のコミュニケーション 顔の表情
コロナ禍とユーモア 消化し難いものを消化
る ユーモアのある寛容さ テレプレゼ
見えないものを捉えて 認識して手放す
モーダル体験 主観と客観のあい オフ
離 同一化の能力 発達への影響 濃密・親
オンライン面接を導入しない「曖昧な」
社会的無意識 孤立と連帯 オンライン
の影響を受けにくいなが 形象化 非現実的な現実 などよい治療設定 実在性 周辺部分を含ま
ない 不在に対する躁的な防衛 探索的な姿勢と支持的な姿勢 治療設定 不気味なもの 早期の剥奪経
験 相互の映し返し 内的設定 語りにくい状況 何かと何かの間にいる 精神分析的生成 通じるた
めの情と分かるための知 あれとこれと 旅先の浮いた感覚 分かれ目に退行する エディプスコン
プレックス triangulating 矛盾と葛藤がこなされて 存在論的転回 臨床と社会的な問題のつながり

1—リズム体験と中途半端さ

最初に、臨床家に向けられたこの企画にお招きいただいたことを嬉しく思います。こ
では、私は現在オンラインの使用について主に治療構造の変更という観点から考えていま
すので、何よりもそのことを報告いたします。

まず、日本人のサイコセラピーにおいて、頻度は少ないながらも規則正しく実践しよう
とするこの勤勉さは、「一寸先は闇」という災害大國ゆえの不安に裏打ちされており、そ
れは震災や洪水だけではなく、このコロナ禍においても際立っています。この国ではいつ
も四季という円環的時間を感じながら、そのリズムが狂いやすいことに敏感なのです。例
えば、秋がなくなるとか梅雨がえらく長いか言って、刻まれていくリズムの周期性や
普通であることからの逸脱を、私たちは毎日のように口にしています。基本的に、四季が
規則正しいことから生まれる「大自然への依存」によって、なにか大きなものにお任せし
ながら、些細な不規則さを忘れられるなら、その安心感は私たちにとって替えがたいもの
になるでしょう。

2

編者のひとりである北山修も、朝日新聞のインタビュ、北山精神文化研究所の《北山Walter》
や木立の文庫が主催する一般公開講座《きたやまWalter》において、インターネット時代やコロ
ナ禍における精神分析的臨床や、コロナ禍における「愛」について、積極的に発信してまいりました。
北山と荻本は、シンポジウムで議論されたことがその後もさまざまな学術集や会合で議論されて
いるのを耳にして、このテーマの重要性を感じるとともに、シンポジウムに参加できなかった方々
を中心に、シンポジウムに参加
企画されたのが、この書籍です。
を、中心に、シンポジウムに参加
コロナ禍で体験していることや、
北山に対して荻本が問いを立て、
部に、本文中のキーワードと他
、どうあるべきかを考えていく
すことを目的としています。す
に答えを出そうとはせず、思考
り戻すことにつながっていく

3

サイコセラピーの
リズム

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

この本の編者と著者を紹介します

荻本 快 相模女子大学学芸学部准教授、国際基督教大学教育研究所研究員、米国精神分析学会 Candidate Member。 **北山 修** 九州
大学大学院人間環境学研究院および医学研究院教授、国際基督教大学客員教授、白鷗大学副学長を経て、現在、北山精神分析室で個人開業。
九州大学名誉教授、白鷗大学名誉教授。前日本精神分析協会会長、元日本精神分析学会会長。国際精神分析協会正会員。

飯島みどり 慶應義塾大学学生相談室、南青山心理相談室、臨床心理士。 **石川与志也** ルーテル学院大学准教授、東京大学駒場
学生相談所非常勤講師、臨床心理士。 **揖斐衣海** KIPP 渋谷心理オフィス、国際基督教大学カウンセリングセンター、臨床心理士。
岡田暁宜 慶應義塾大学環境情報学部教授、精神科医、日本精神分析協会正会員・訓練分析家。 **奥寺 崇** クリニックおくでら、
精神科医、精神分析家（日本精神分析協会、国際精神分析協会）。 **笠井さつき** 帝京大学心理臨床センター教授、臨床心理士。
関 真粧美 南青山心理相談室、臨床心理士。 **西村 馨** 国際基督教大学上級准教授、臨床心理士。 **山本雅美** 武蔵境心理相談室、
臨床心理士、William Alanson White Institute 認定精神分析家。